

日光医療センター通信

～いろは～



獨協医科大学日光医療センター
Dokkyo Medical University Nikko Medical Center

2016.1 第28号



小田代ヶ原（栃木県日光市）

主な内容

診療紹介（外科）	2
部門紹介（事務部管理課）	3
公開講座	4
臨床検査部からのお知らせ	5
オープンホスピタル2015	5
旬を食べよう／求人情報	6



診療紹介 シリーズで当センターの診療内容についてご紹介いたします。

▶ 外科

【治療対象】

外科とはどのような治療を行っている診療科でしょうか。ご存知のように外科は手術によって治療を行う診療科のことですが、外科というものはいろいろな分野に分かれている診療科の総称です。外科の範疇には脳外科、眼科、耳鼻咽喉科、胸部外科、消化器外科、泌尿器科など多くの科が含まれています。単に外科と表示してある場合には専門部位を示していません。専門性のある外科は以前より脳外科、泌尿器科などのように専門分野を表示した表記になっています。専門性を表示しない外科を一般外科という診療科で表示していました。当院では外科と表記していますが、実際の専門分野は消化器外科です。当院には外科系の診療科として外科と整形外科、心・血管外科、形成外科、泌尿器科そして皮膚科があります。外科による治療が必要な疾患は多く、当院だけですべてをまかなうことはできません。このため、外科は一般外科として当院の外科診療科の専門外の外科疾患の窓口としても働き、胃癌や大腸癌などの悪性消化器疾患や、虫垂炎、胆石症や痔核などの良性消化器疾患の他、乳腺や甲状腺腫瘍や甲状腺癌などの疾患に対する手術も行っています。また、ヘルニア(脱腸)も治療対象疾患です。

【診療体制】

外科は現在、常勤医師3名で外科治療を行っています。この3名で外来診察、病棟回診・処置そして手術治療を行っています。手術を行う際、ヘルニアや痔などの肛門疾患は術者と助手の2名で行い、胃の手術や大腸の手術などの全身麻酔下での手術は術者1名と助手2名となり3名で手術を行っています。このようにチーム体制で手術治療を行うために、現在の3名体制では、原則的に外来診療は午前中のみに限られ、午後が手術治療の時間となります。外科治療が必要な患者さまにはご迷惑をおかけしますが、外来を受診される場合は午前中にご来院されますようお願い申し上げます。

【手術手法】

腹部の手術に際して傷が小さく、手術後の腹痛や手術時の体に対する負担が少ない腹腔鏡手術の適応範囲が大きくなっています。当科でも腹腔鏡下手術の件数は、年々増加傾向にあります。当院で腹腔鏡手術を行っている手術手技には、胆石症や胆のう炎に対する胆のう摘出術、胃癌などの疾患で胃の一部を切除する部分切除、胃の出口側から半分を切除する幽門側胃切除術、虫垂炎の場合の虫垂切除術などがあります。

【手術に使用する道具】

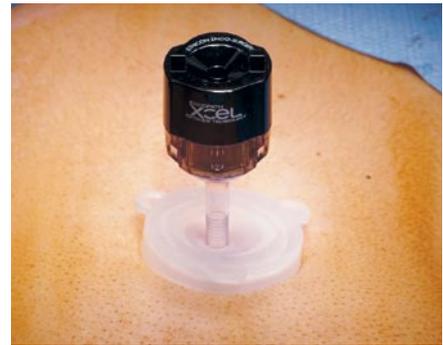
- 腹腔鏡です。直径5mmの腹腔鏡を使用しています。上の細くて黒いチューブがカメラ部分です。



- 腹腔鏡下手術で使用する道具です。右側にあるものが、カメラなどを腹腔内に通じさせるポートという筒です。左側が腹腔内の臓器をつかんだり切ったりする鉗子という道具です。



- 腹部にポートが入っている状態。この筒を通じて、体の内側の臓器を観察したり、処置したりします。

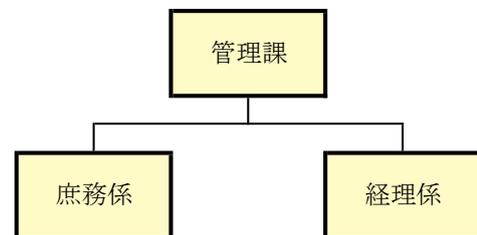


部門紹介 シリーズで当センターの各部門をご紹介します。

▶ 事務部管理課

【組織と業務】

管理課は「庶務係」「経理係」の2つの係から構成され、総勢16名で業務を行っております。5階事務室において病院運営に係る管理業務全般を担当しております。それぞれの係の仕事をご紹介します。



● 庶務係

諸監督官庁への認可申請及び届出、病院諸規程の制定及び改廃、病院運営会議・諸行事の準備、各種補助金の申請報告、広報の編集・発行及び掲示、公文書郵便物等の授受発送、入院患者様の選挙権行使、病院長・副院長の秘書業務、電話交換業務、教職員の人事・給与・福利厚生業務、建物の施設管理など、また他の部門に属さない業務を担当しています。

● 経理係

会計全般に関すること、予算編成・予算執行管理・決算業務、会計事務に関する調査、報告に関すること、そして、日常の出納全般を担当する財務担当者として、医療機器、物品、備品等の調達及び維持管理、設備関係費並びに物件費及び経費の管理、物品の補修・処分、そして、物品の調査統計及び報告を担当する用度担当者が共に業務を行っています。



【今年度の話題】

担当業務が多岐にわたる管理課ですが、今年度は新たな取り組みとして、災害拠点病院指定を目指しております。庶務係・経理係がそれぞれ協力し準備に当たりました。

災害拠点病院指定を受けるためには、様々な要件がありますが、なかでも重要な項目として災害時における電源・飲料水の確保があります。工事の手配を庶務係が担当し、非常用発電機の重油タンクと病院熱源用の重油タンクを連結させ、災害発生後3日間の電源供給を可能としました。飲料水については、井水施設に新たな滅菌処理装置を設置することで災害発生時に必要となる飲料水の確保が可能となりました。

また、経理係が今年発足したDMAT（災害派遣医療チーム）の活動のための資機材の整備や災害発生時の診療体制支援のための物品の整備等を行い、災害拠点病院として必要な物品の調達を12月に完了いたしました。

他にも病院全体の熱源システムの更新工事や10周年記念事業、その他大型事業も予定しております。今後も皆様のご協力を得ながら、患者さまがより良い環境で受診できるよう、また職員においては快適な勤務ができるよう今後も業務を行ってまいります。



公開講座について

平成27年11月7日（土）に獨協医科大学と日光市との共催で「獨協医科大学公開講座」が日光市教育委員会の後援により日光市今市保健福祉センターにて開催されました。獨協医科大学では、「開かれた大学」を目指し、地域の皆様の生涯学習の機会として、日常生活に役立つ医学・医療に関する情報を提供すべく「公開講座」を実施しています。

今回は、麻酔科学の山口重樹教授が座長を務められ、日光医療センターの膠原病・アレルギー内科の戸田正夫教授が「今すぐそこにある危機!!!—感染症のはなし—」と題して、身近な感染症であるインフルエンザやノロウイルス感染症等について講演を行いました。

52名という多くの地域の方にご参加いただき、会場は満席となりました。

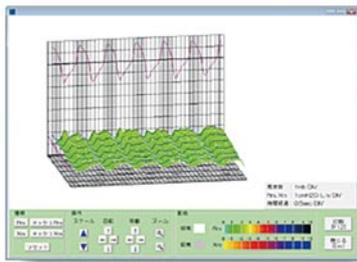
感染症に対しての家庭での予防策等の実践的なお話もあり、皆様とても真剣に講演を聞かれているのが印象的でした。



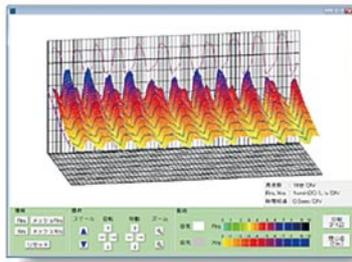
臨床検査部からのお知らせ

2015年10月に、新しい検査が加わりました。呼吸抵抗 (Rrs) 検査です。ヒトの呼吸は、周波数が高くなるにつれて抵抗が減衰していく場合があり、これを呼吸抵抗の周波数依存性と呼びます。この周波数依存性と時間経過を、3Dカラーグラフィックで表示し、簡易に見ることができます。

この検査は非侵襲的で、安静呼吸をするだけで測定できます。閉塞性呼吸器疾患領域の病態診断や薬剤効果判定、疾患管理に有用です。Rrsの周波数依存性は比較的重症の喘息と慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 症例でみられます。

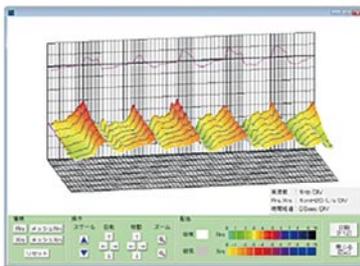


● 健常者

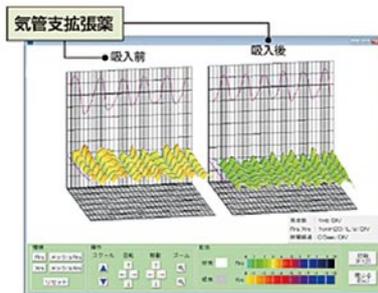


● COPD

COPDでは、周波数を低くするほど呼吸抵抗が高くなっていく現象がしばしばみられます。



● 喘息



● 潜在喘息患者と思われる症例

喘息では呼吸抵抗が高くなり、重症になるほど周波数依存性も顕著になります。

オープンホスピタル2015

平成27年9月26日(土)に日光医療センターで「オープンホスピタル2015」を開催しました。昨年、ねんりんピック (全国健康福祉祭) の協賛イベントとして当センター初の院内開放イベントを行い、大変好評でした。今年も当センターの周知・啓蒙活動に加えて、地域の健康増進に貢献したいとの思いから、当イベントを開催しました。

今回は、昨年好評だった『痛くない健康チェック (血管年齢、肺年齢、体組成)』や『院内ツアー』などを充実させるとともに「もし日光で大規模災害が起こったら」をテーマに、緑川副院長による特別講演や救急袋の使い方等、災害が起きた時に必要となる知識を身につけるイベントも用意しました。少し前に豪雨災害があったこともあり、交通が不便な状況ではありましたが、松下先生による特別講演や心臓マッサージ体験等に多くの方に参加していただきました。健康チェックや院内ツアー等の予約を必要とするイベントも、早々にキャンセル待ちになるほどの盛況となり、全体で58人の参加がありました。ゆるキャラも多く登場し、3体のご当地キャラクター『日光仮面』『にっきー』『鬼怒太』との写真撮影は、子ども連れだけでなく大人の方にとっても人気のコーナーとなり、盛り上がりました。

各種イベントを通して地域の方々の健康増進や防災意識向上に貢献することができました。



旬を食べよう

春菊

春菊は冬の代表的な緑黄色野菜として、鍋物に欠かせない食材です。茎や葉が柔らかい旬は、11月から2月になります。

《栄養》

ほうれん草や小松菜を上回る量のβカロテンを含みます。βカロテンには、強い抗酸化作用があり、生活習慣病予防に効果が期待できるほか、粘膜を健康に保つ働きもあり、風邪を予防する効果も期待できます。

独特の香りは、α-ピネン、ベンズアルデヒドなどの10種類の香り成分によるものです。自律神経に作用し、胃腸の働きを高めたり、のどの痰を切り、咳を鎮めるなどの作用があります。

《選び方》

- 根元から葉が密生していて、緑色が濃いもの
- 葉先がしおれていなく、みずみずしいもの
- 茎が細く短めのもの

《保存方法》

- さっと洗い、湿らせた新聞紙やキッチンペーパーで包み、ポリ袋に入れて冷蔵庫に入れます。このとき、根元を下にして立てて保存すると、より長持ちします。
- ゆでたものは、冷蔵で2～3日保存できます。ゆでて冷凍したものは、2週間程度保存できます。独特の香りや味を損なわないためにも、早めに使い切りましょう。

《美味しい食べ方》

- 鍋物やすき焼きをはじめ、おひたしや和え物、味噌汁の具や天ぷらなどに使います。柔らかい葉は、生でも食べられます。おひたしや和え物にするときは、さっとゆでて冷水にとり、色止めをしましょう。



当センターと一緒に働いてみませんか？

平成28年度採用 看護職員募集中

詳細なお問い合わせは下記まで
TEL 0288 - 76 - 1515 (内線270) 看護部

※平成27年度採用についても随時対応いたします。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

気持ち新たにスタート 良い一年を迎えたいですね。

ところで、皆さんはお正月に美味しいおせち料理を召しあがった事でしょう。「おいしい」と言えば当院の宿泊ドックでは、鬼怒川の美しい渓谷と提携ホテルの温泉&美味しいお料理を楽しんで頂きながら、健康診断を受ける事ができると言う一度で二度おいしいプランがある事をご存じですか？

ご夫婦で、お友達同士でたまにはゆっくりくつろぎながら…健康チェックなんていかがでしょう。 (M・H)

日光医療センター通信 ～いろは～ 第28号

〒321-2593 栃木県日光市高徳632番地 TEL 0288-76-1515(代表) FAX 0288-76-1611

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/indexj.html>

発行年月日/平成28年1月00日

編集・発行/獨協医科大学日光医療センター広報委員会

印刷/株松井ピ・テ・オ・印刷

携帯サイトはこちら

<http://www.dokkyomed.ac.jp/nmc/i/>
または、右記のQRコードを読み取り
アクセスして下さい。

